

令和5年度保健師職能だより

あいさつ 保健師職能委員長 藤谷明子

保健師職能の令和5年度の活動方針は、1)保健師の専門性を活かし、各分野において、全世代の地域包括ケアを推進する。2)会員の拡大を図る。この2点を掲げ、活動目標は、1)保健師・助産師・看護師の連携、多機関で働く保健師間の連携強化、2)保健師職能の専門性を追求する（スキルアップ、課題の明確化）を掲げて取り組んでいます。

保健師職能委員会では、行政だけではなく、病院や企業、教育機関で働く保健師のネットワークづくり、保健師・助産師・看護師が連携した取り組みの推進などをテーマとした研修に果敢に取り組んでいます。看護協会だからこそできることが多々あると思いますので、現場の皆様の意見を聞きながら、「楽しく、つながる、ためになる」をスローガンに魅力ある保健師職能活動に取り組んでまいります。

令和6年1月1日の能登半島地震では、発災直後から県内保健師の支援がスタートしています。被災地における保健師等の支援活動を共有し、島根県における災害時の保健活動の参考となる取り組みも今後検討してまいりたいと思います。



保健師職能委員の紹介

県内の保健師は企業、病院、教育機関、県、市町村と様々な機関で働いています。保健師職能委員は、現場のニーズに沿った活動をするために、様々な立場の保健師で構成しています。

堀江亜由美（松江市役所）・遠藤まどか（県庁）・板垣宏美（吉賀町）・藤原芙実（松江生協病院）
仲佐菜生子（島根産業保健総合支援センター）・祝原あゆみ（島根県立大学出雲キャンパス）



保健師職能交流会

～多機関で働く保健師の顔の見える関係づくり～

令和5年6月17日（土）、パルメイト出雲（パルメイトホール）において保健師職能交流集会を開催しました。行政、病院、企業、教育機関等の様々な機関で活躍している保健師が、各機関で働く保健師の役割等の理解を深め、連携していくことを目的に開催しました。ここ数年は学生にも参加してもらい、保健師の役割や具体的な活動を知ってもらう機会にもしています。今年度は、保健師14名、学生11名の参加がありました。

公益社団法人島根県看護協会 副会長 永江尚美氏の講演では、「私たちを取り巻く社会の現状」として、2040年を見据え「健康寿命の延伸」「がん・生活習慣病対策、フレイル/サルコペニア予防」「孤独死の予防、ソーシャルキャピタルの醸成・活用」「安心して産み育てることのできる地域社会づくり」「社会保障制度改革」「防災・減災・二次被害の防止」などの対策が求められているお話をいただきました。改めて公衆衛生を担う保健師は、専門性を追求し社会の動きを見据えながら、多職種連携・他機関連携のもと、健康づくりを支援する環境づくり・健康増進から一次・二次・三次予防の保健活動を展開していくことが重要であることを確認しました。



活動紹介では、松江記念病院 菖蒲宏子氏から「病院保健師の活動」、島根富士通 池田和子氏から「企業保健師の活動」について紹介していただきました。

意見交換では、「保健師を巡る社会情勢と求められることを学ぶことができた」「各職場での取組が刺激になり、明日からの活動の活力になった」「横のつながりの重要性を再認識した」などの感想がありました。また、学生からは「保健師が地域全体に関わり、住民一人一人の健康を考えていることが強く伝わり、将来保健師を目標にしたいと再認識した」との感想がありました。交流集会では、国の動向等を確認し、様々な部署で働く保健師同士が連携し、健康課題等の解決に向けた取組が推進できるよう内容を検討していきたいと思います。



保健師・助産師・看護師 3 職能合同研修会

～医療的ケア児の支援：乳幼児を対象とした支援～

令和5年9月17日（日）朱鷺会館（出雲市）大ホールで、保健師・助産師・看護師合同研修会を開催しました。当日は69名の参加があり、本テーマに対する3職能の関心の高さが伺えました。始めに、県健康福祉部の内田和恵氏から県の動向についてご説明いただいた後、令和4年11月に設置された「島根県医療的ケア児支援センター」の取り組みについて、同センターの矢田昭子氏にお話しいただきました。

活動報告では、助産師（島根大学医学部附属病院 川上恵氏）・保健師（益田保健所 三浦幸乃氏）・訪問看護師（斐川訪問看護ステーションさくら 廣瀬文美氏）・病院看護師（松江医療センター 山根洋子氏）の各立場から、医療的ケア児への支援の実際について活動紹介をしていただき、充実した内容となりました。児の成長発達に応じた支援や家族の心理状態にも応じた支援、関係者・関係機関が連携した支援の必要性を理解するとともに、社会資源の創出や支援する専門職等の人材育成など諸課題についても共有できた研修会となりました。



保健師・助産師職能合同研修会

～母子支援のための安心・安全な地域包括ケアシステムの推進～

令和5年8月27日（日）、今年で3年目となる「保健師・助産師合同研修会」を、朱鷺会館（出雲市）大ホールで開催しました。当日は、保健師14名、助産師11名、看護師1名の合計26名の参加がありました。始めに、県健康推進課子育て包括支援スタッフ課長補佐 細田舞氏から、国や県の現状の他、現在検討中の健やか親子しまね計画やこども家庭庁の動き、成育医療等基本方針を踏まえた計画など最新情報を踏まえて、「多様化に応じた予防的支援に向けた多職種連携」、「包括支援システムの構築の強化」について、「医療、保健、福祉の場を超えて多職種でのりしろ支援ができる関係づくり」に向けた期待などご講演頂きました。活動報告では、松江市健康推進課の堀江亜由美氏、たばら助産院の田原恭子氏から、日頃の取り組みと保健師・助産師の連携の重要性について報告があり、グループワークでは、「保健師・助産師の連携強化について」意見交換をしました。

参加者からは、保健師・助産師の「連携の重要性を再認識した」、「連携してタイムリーな支援をしたい」、「圏域内の顔の見える関係づくりができた」、「他圏域の活動を知り参考になった」など、積極的かつ活発な意見交換ができ、有意義な研修会となりました。今後も、保健師・助産師合同研修会を重ね、保健師と助産師が顔の見える関係づくりを深め、母子支援のための安心・安全な地域包括ケアシステムの推進に向けて力を合わせていきたいと思えます。



保健師職能研修会

～乳幼児の発達と早期発見、発達が気になる児への支援～

令和5年7月30日（日）に「保健師職能研修会」を朱鷺会館（出雲市）大ホールで開催しました。当日は、県6名、市町村31名、教育機関1名、学生2名の40名と大変多くの参加者で活気のある研修会となりました。

始めに、いしいクリニック院長の石井尚吾先生から「乳幼児の発達と早期発見の視点」と題して、乳幼児健診における観察のチェックポイントについて、赤ちゃんの人形を使いながら具体的にご講演いただきました。活動報告では、松江市発達教育支援センター「エスコ」の堀江佐智子氏に、相談の現状や保健との連携について報告を受けました。



グループ討議は、参加者の経験年数別分けて、新任期グループでは、「普段の活動で困っていること」、中堅期以上グループでは、「若手の保健師を指導する立場として」について意見交換を行いました。

講演や活動報告は具体的に学びの多い研修になり、意見交換は年代別とし充実したものとなりました。今後も、現場のニーズを把握しながら、今、保健師に求められる資質の向上を目指した研修会を継続的に実施していきたいと思えます。



保健師職能の会員の現状（R5.11）

令和4年12月の会員数は271人で、令和5年11月現在の会員は20人も減少して251人です。様々な職場で働く保健師仲間が集える場、他の看護職と繋がる場「看護協会」に入会して、研修会等にご参加ください。**楽しく、繋がる、ためになる** 保健師職能です。

支部	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	合計
会員数(人)	97	39	35	21	21	21	17	251
就業者数(人)	177	60	91	60	61	60	27	536
入会率(%)	54.8	65.0	38.5	35.0	34.4	35.0	63.0	46.8

トピックス

自治体で働く保健師の魅力発信

イベント！！

令和5年度初めて、日本看護協会と都道府県看護協会が協力し、自治体で働く保健師の人材確保を目的「地域で働く保健師の魅力発信イベント」を開催しました。

令和5年12月2日（土）朱鷺会館（出雲市）にて、はじめに、日本看護協会主催で、県・市・離島で働く保健師からWebを通じて活動紹介があり、その後、島根県看護協会主催で、松江市・出雲市・奥出雲町・吉賀町・知夫村・県の保健師による相談ブース、大学による進路相談ブースを開設し、県内高校生、看護学生、その保護者等の30名の参加がありました。

自治体による相談ブースでは自治体の活動を熱がこもったPRがあり、参加者は、熱心に話を聴き、そして多くの質問をしておりました。

相談ブースは、終了時間いっぱいまで相談する学生で盛況でした。参加者は、「必ず保健師になりたいです」「〇〇市町村に入りたいです」「今日はとても楽しかった」と言い、自治体側は「学生と連絡をとり手ごたえを得ることができました」というところもあり、この会場に集まったみんなが素敵な顔をして終わることができました。自治体も参加者も両方の本気度が強く響きあう1日で、1人でも多く県内自治体に保健師として就職してくれることを願ったイベントとなりました。



フレッシュ！新入会員からのメッセージ

隠岐保健所 坂本くるみさん

はじめまして。隠岐保健所で保健師をしている坂本と申します。保健師は3年目で、職場では、主に難病患者家族支援の業務をしています。

看護協会では、今年度から隠岐支部の役員として、支部での研修会や病院祭での啓発活動にも参加しました。看護協会での活動を通して、他の職場で働いている同じ看護職の様子も知ることができ、いい機会となっています。



隠岐の島での生活も3年目となり、島のゆったりした環境でゆるゆると育てていただいているところです。まだまだ未熟な私ですが、保健師としてできることを1つずつ増やしていきたいと思っています。これからよろしくお願いします。

松江市 川島遥華さん



松江市役所健康推進課で保健師をしております、川島と申します。職場で周囲からの勧めがあり、今年度より看護協会に入会しました。今年度は看護協会の研修会の案内をいただき、いくつかの研修会に参加しました。乳幼児の発達についてや助産師との連携についてなど、日々の業務の中で気になっていることや知りたいと思っていることを学ぶことができる機会をいただけたと思っています。

また、普段の業務ではお話したことのない方や保健師以外の看護職とも意見交換をする機会もあり、それぞれの立場での意見を聞くことができ、勉強になっています。

今後も研修会等に参加し自身の成長につなげ、よりよい保健活動を行っていききたいと思っています。



令和6年度の活動計画

誘い合ってみんなで参加しましょう

島根県看護協会 保健師職能委員は、島根における「地域包括ケアシステムの推進」「会員の拡大とネットワーク化」を目標に活動を進めていきます。現場の保健師の皆様の声を聴きながら活動をしますので、多くのご参加と様々な声をお聞かせいただきたいと思います。

令和6年度の研修等事業も充実しています。是非、誘い合ってお出かけください。

保健師職能交流集会

日時：令和6年6月16日（日）

13：00～16：00

場所：パルメイト出雲

★多機関で働く保健師間の連携

保健師職能研修会

日時：令和6年10月20日（日）

13：00～15：45

場所：朱鷺会館

★健康寿命延伸に向けた働き盛り世代からの健康づくり

保健師・助産師合同 研修会

日時：令和6年8月25日（日）

13：00～16：00

場所：朱鷺会館

★母子における地域包括ケアシステムの推進～保健師・助産師の顔の見える関係づくり～

保・助・看 3職能研修会

日時：令和6年9月29日（日）

13：00～16：00

場所：朱鷺会館

★能登半島地震における
災害支援活動

3T:楽しく。繋がる。ためになる。

保健師職能研修会・交流会に参加しよう

入会のご案内

日本看護協会は、保健師・助産師・看護師・准看護師の資格があれば、どなたでも入会できます。*

※都道府県看護協会の会員が、日本看護協会の会員になることができます。

WEBサイトから入会



左記QRコードからアクセスしていただき、
手順に従って入会の手続きをお願いします。



ぜひ
ご利用ください

会員の皆さま専用WEBページ

キャリアナース



キャリアナースは、

経験を積んで **キャリアアップ** したい **看護職** の皆さまを **応援** します!

キャリアナースを利用するには「ユーザ登録」が必要です。

1 アクセス方法



<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>



島根県看護協会は、次年度から マナブル 研修管理システム (manaable) を導入します。

研修の申込受付から受講料納入等、一連について **WEB上で管理** できる方法に変わります。

令和6年度は、一部の研修申込みから開始します。

ハイブリット型受講を可能にする 研修管理システム

会員管理・研修管理・申込管理・
決済管理・受講管理・アンケート管理と、
研修管理に必要な機能を網羅しています。

manaable



各施設の
看護管理者等向け説明会
下記日程で開催予定。

日時: 令和6年3月18日(月)
14時00分~15時00分

対面またはオンライン